

講義および演習環境の事前確認

注意事項	1
作業 1 : Zoom 会議への接続テスト	2
作業 2 : Skillable サイトとラボ環境への接続テスト	3
作業 3 : Azure portal と Azure Cloud Shell への接続テスト	5
作業 4 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト	7

注意事項

- この手順は、**必ず**トレーニング コース **受講当日に使用する PC および 場所（ネットワーク）**で行ってください。
 - 画面や操作手順は、予告なく変更になる場合があります。
- 演習用の PC は、Windows 10 または **Windows 11** をご使用ください。
- 会社ネットワークや会社デバイスを使用されている場合、会社のポリシーによって、通信ポートや特定サイトへのアクセスが制限され、ハンズオン演習が実施できない場合があります。この事前確認作業が失敗する場合は、ご自宅のネットワークや個人のデバイスなど、**制限のない環境** での受講をご検討ください。
- Lab 仮想マシンへの RDP 接続テストは、メンテナンス時間（AM 1:00-5:00）内は行うことができません。
- 演習用 Web ブラウザーは、**Microsoft Edge** または **Google Chrome** を使用してください。
 - Web ブラウザーから特定のサイトにアクセスする際、確実に指定されたアカウントでサインインするためには、Microsoft Edge の **InPrivate モード** や Google Chrome の **シークレット ウィンドウ** をご使用ください。
- ハンズオン演習で使用する PC とは別に、**2 つ目のデバイス** をご用意いただくことを、強く推奨いたします。

- 2 台目のモニター、2 台目の PC、タブレット端末など。
- これは、講師の画面を表示しながら、演習を行ったり、デジタル テキストを表示したりするためです。
- なお、Zoom 用と演習用で別々の PC を使用される場合、演習環境からも Zoom チャット操作を行っていただく場合があるため、研修で使用されるすべての PC から Zoom への接続テストを行うことを推奨します。

作業 1 : Zoom 会議への接続テスト

このコースは、Zoom 会議を使用します。Zoom 会議への接続を確認します。

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
2. 「Zoom の テスト サイト」にアクセスします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/>

3. Zoom ミーティングに参加するテストの「手順」が表示されます。



⇒ 指示に従ってテストを行います。

作業 2 : Skillable サイトとラボ環境への接続テスト

このコースの演習環境である、Skillable サイトとラボ環境への接続を確認します。

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
2. 「Skillable サイト」にアクセスします。

<https://alh.learnondemand.net>

3. 「Skillable サイト」が表示されます。



⇒ Skillable サイトに接続できました！

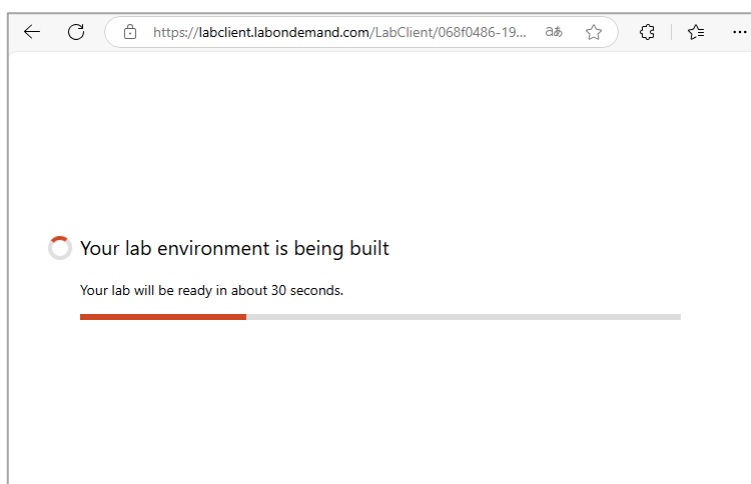
ワンポイント

Skillable サイトのアカウントは、トレーニング受講当日、講師の案内にしたがって登録します。ただし、すでに Skillable アカウントをお持ちの方は、既存のアカウントを使用できます。その場合は、そのユーザー名とパスワードでサインインできることを確認しておいてください。

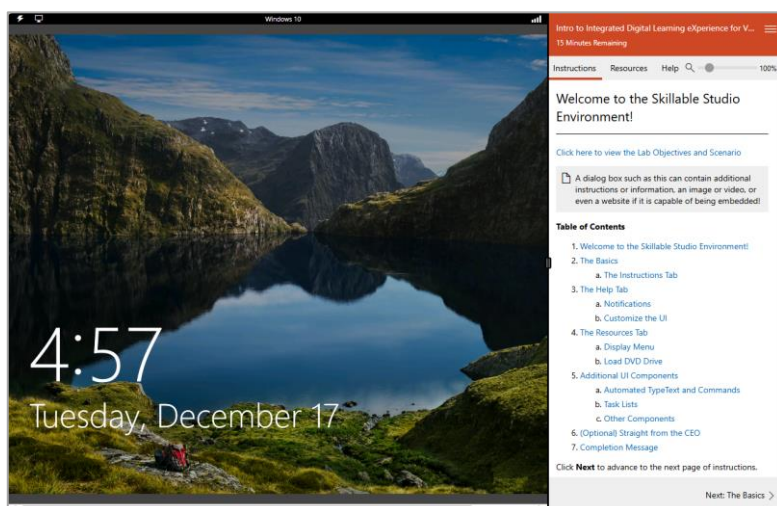
4. Web ブラウザーにタブを追加します。
5. 「Skillable のテスト用ラボ環境」にアクセスします。

<https://labondemand.com/Launch/122B02AA>

6. テスト用ラボ環境が開始されます。



7. テスト用ラボ環境が表示されます。



⇒ テスト用のラボ環境に接続できました！

8. Web ブラウザーを閉じます。

作業 3 : Azure portal と Azure Cloud Shell への接続テスト

Azure portal および Azure Cloud Shell に、テスト アカウントで接続できることを確認します。

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
2. Azure portal にアクセスします。

<https://portal.azure.com>

ワンポイント

Web ブラウザーにキャッシュされているアカウントで自動的にサインインされた場合は、一度 サインアウトします。

3. 次のテスト アカウントで、サインインします。
 - ユーザー名 : `testuser@edifist24outlook.onmicrosoft.com`
 - パスワード : `Online12345`

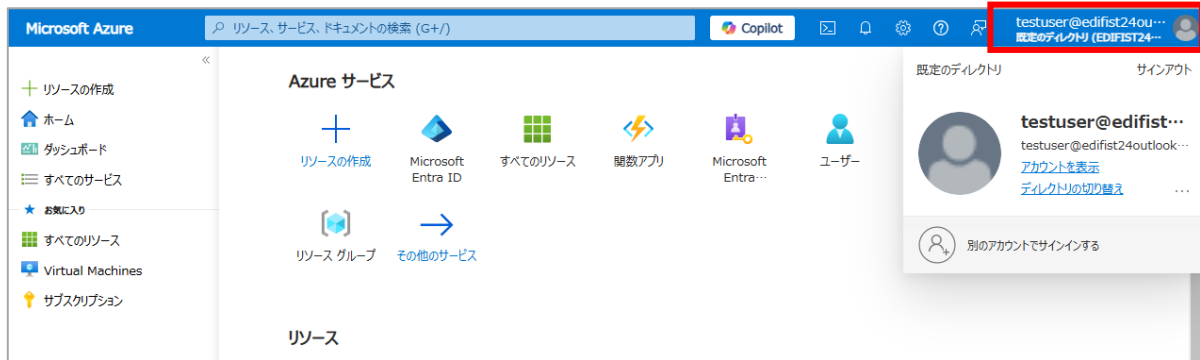
ワンポイント

会社ネットワークや会社デバイスを使用されている場合、会社のポリシーによって、テスト アカウントを使用する Azure portal へのアクセスが制限されている場合があります。

この操作ができない場合は、ご自宅のネットワークや個人のデバイスなど、制限のない環境でのご受講をご検討ください。または、Microsoft Edge の InPrivate モードや Google Chrome のシークレット ウィンドウを使用して、Microsoft 365 ポータルにアクセスしてみてください。

4. 「サインイン状態を維持しますか?」と表示されたら、[いいえ]をクリックします。
5. 「パスワードを保存しますか?」と表示されたら、[今は実行しない] をクリックします。
6. Azure portal が表示されます。

7. 画面右上のユーザー名をクリックし、テスト アカウントでサインインできたことを確認します。

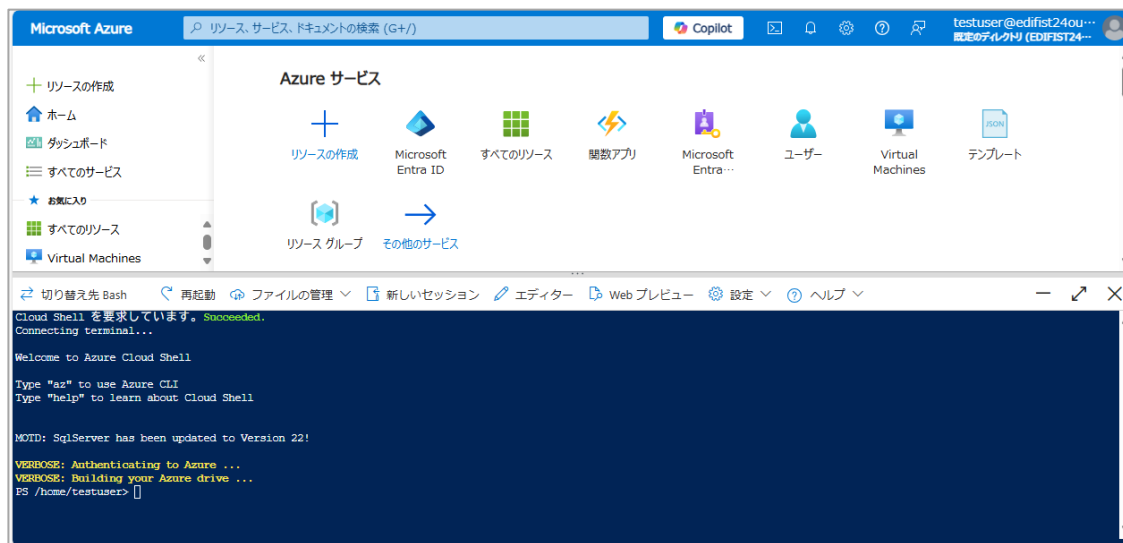


⇒ テスト アカウントで Azure portal に接続できました！

8. Azure portal 画面上部の [Cloud Shell] アイコンをクリックします。



9. Azure portal 画面下部に、[Cloud Shell] 領域が表示されます。



⇒ テスト アカウントで Azure Cloud Shell に接続できました！

10. Azure portal からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます。

作業 4 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト

演習で使用する、Azure Lab Services サイトと Lab 仮想マシンへの接続を確認します。

1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します
2. [Azure Lab Services]にアクセスします。

<https://labs.azure.com>

3. Azure Lab Services ページが表示されます。
4. 画面中央の[サインイン]をクリックします。

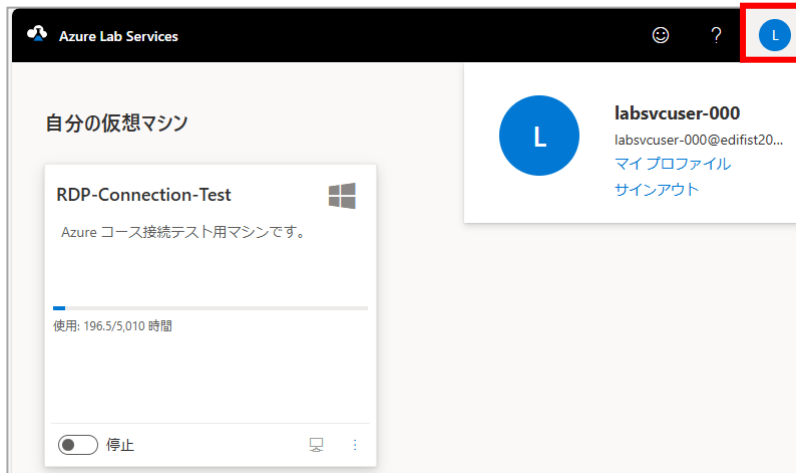


5. 次のテスト アカウントで、サインインします。

- ユーザー名 : `labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com`
- パスワード : `Pa$$w0rd1234%`



- Azure Lab Services の画面が開きます。
- 画面右上のアイコンをクリックし、テスト アカウントでサインインできたことを確認します。



⇒ テスト アカウントで Azure Lab Services に接続できました！

- [自分の仮想マシン] が「停止」している場合は、仮想マシンを開始するため、[停止] スイッチ ボタンをクリックします。



⇒ スイッチ ボタンの表示が、「停止」→「開始しています」→「実行中」に変わります
(この処理には、3 ~ 4 分かかります)。

9. スイッチ ボタン [実行中] の右隣にある PC アイコンをクリックします

(PC アイコンにカーソルを合わせると、[仮想マシンに接続する] と表示されます)。

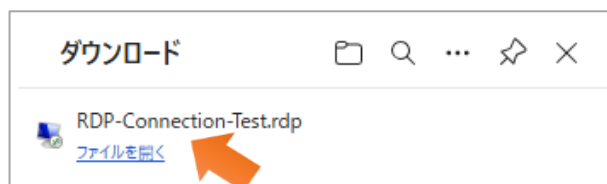


⇒ 「RDP-Connection-Test.rdp」という名前のファイルがダウンロードされます。

次のようなメッセージが表示された場合は、[保存] をクリックします。

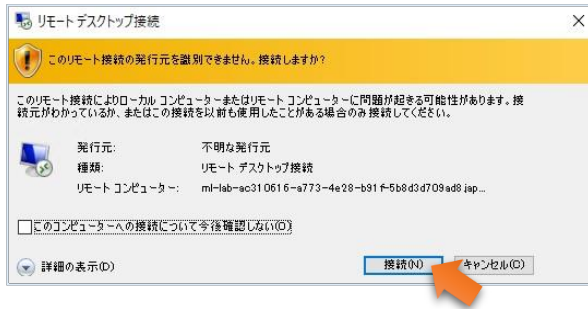


10. ダウンロードされた RDP ファイルを開きます。



⇒ [リモート デスクトップ接続] の [このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか?] と表示されます。

11. [接続] をクリックします。



⇒ [資格情報を入力してください] が表示されます。

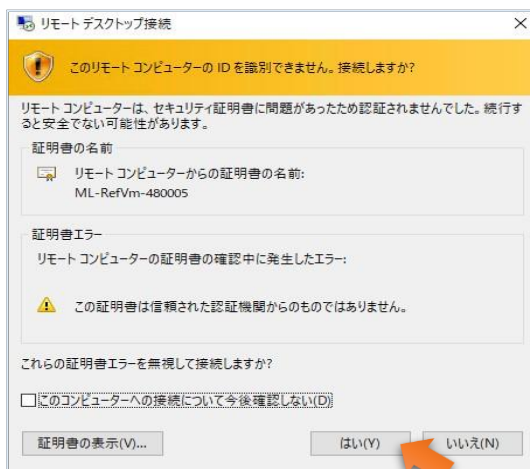
12. Lab 仮想マシンに、以下のテスト用アカウントでサインインします。

- ・ ユーザー名 : **student**
- ・ パスワード : **Pa55w.rd2005!**

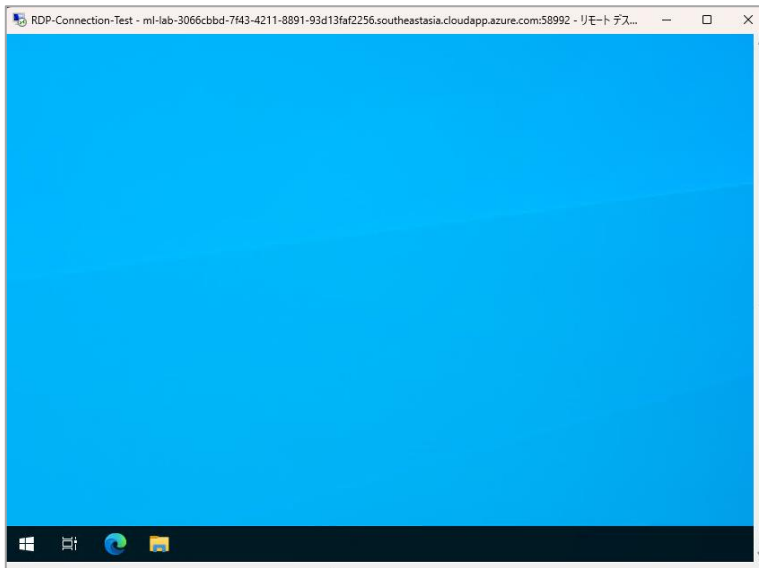


⇒ [このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?] と表示されます。

13. [はい] をクリックします。



14. リモート デスクトップ接続の画面が表示されます。



⇒ テスト アカウントで Lab 仮想マシンに RDP 接続できました！

15. 画面右上の [×] をクリックし、リモート デスクトップ接続ウィンドウを閉じます。

16. 「リモート セッションは切断されます」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

ここで、Azure Lab Services の画面に戻ります。

17. 仮想マシンを停止するため、[自分の仮想マシン] の [実行中] ボタンをクリックします。



18. 仮想マシンが「停止しています...」という状態になったことを確認します。



19. Azure Lab Services からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます
(仮想マシンが完全に停止していなくても大丈夫です)。

“事前確認” は、これで終了です。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。
